

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公表番号】特表 2020-504539 (P2020-504539A)

【公表日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-005

【出願番号】特願 2019-536857 (P2019-536857)

【国際特許分類】

H 0 4 N 19/119 (2014.01)

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

H 0 4 N 19/61 (2014.01)

H 0 4 N 19/176 (2014.01)

H 0 4 N 19/96 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/119

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/61

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/96

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 16 日 (2020.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオデータのブロックを符号化する方法であって、
前記ブロックを少なくとも 2 つの長方形サブブロックに分割することと、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて各サブブロックを符号化することと
を含む方法。

【請求項 2】

ビデオデータのブロックを復号する方法であって、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて、前記ブロックを構成する複数のサブブロックのうちの少なくとも 1 つのサブブロックを復号することと、
前記複数のサブブロックを前記ブロックに再構成することであって、再構成することは、前記ブロックの分割の逆動作を備えることと
を含む方法。

【請求項 3】

ビデオデータのブロックを符号化する装置であって、
メモリと、
前記ブロックを少なくとも 2 つの長方形サブブロックに分割し、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて各サブブロックを符号化する
ように構成されたプロセッサと

を備える装置。

【請求項 4】

ビデオデータのブロックを符号化する装置であって、
メモリと、

各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて、前記ブロックを構成する複数のサブブロックのうちの少なくとも 1 つのサブブロックを復号し、

前記複数のサブブロックを前記ブロックに再構成する

ように構成されたプロセッサと

を備え、再構成することは、前記ブロックの分割の逆動作を備える、装置。

【請求項 5】

前記分割することは、

前記ブロックが 3 の倍数ではないサイズ寸法を有する場合、前記ブロックを複数のサブブロックの第 1 の分割に分割すること

を備え、

前記ブロックは、前記ブロックが 3 の倍数であるサイズ寸法を有する場合、複数のサブブロックの第 2 の分割に分割される、請求項 1～2 のいずれか一項に記載の方法または請求項 3～4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 1 の分割は、4 分の 1 および 4 分の 3 の分割であり、前記第 2 の分割は、3 分の 1 および 3 分の 2 の分割である、請求項 5 に記載の方法または装置。

【請求項 7】

前記サイズ寸法は高さである、請求項 5 に記載の方法または装置。

【請求項 8】

前記サイズ寸法は幅である、請求項 5 に記載の方法または装置。

【請求項 9】

前記分割することは、

前記ブロックを、水平または垂直分割を用いて少なくとも 2 つの長方形サブブロックに分割することを備え、非対称分割を用いる連続的な分割は、対称分割のみを用いて同等の分割が実現され得る場合、禁止され、同一のサブブロックをもたらし他の連続した非対称分割が存在する場合、1 つの連続した分割のみが許可される、請求項 1～2 のいずれか一項に記載の方法または請求項 3～4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 10】

前記分割することは、

前記ブロックを複数のサブブロックの第 1 の分割に分割することと、

前記第 1 の分割に基づいて、前記サブブロックの少なくとも 1 つを、複数のより小さなサブブロックの第 2 の分割に分割することと

を備える、請求項 1～2 のいずれか一項に記載の方法または請求項 3～4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 11】

前記第 2 の分割を表すモードがシグナリングされる、請求項 10 に記載の方法または装置。

【請求項 12】

プロセッサを用いて再生するために、請求項 1 および請求項 5～11 のいずれか一項に記載の方法に従って、または請求項 3 および請求項 5～11 のいずれか一項に記載の装置によって生成されたデータコンテンツを含む非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 13】

コンピュータによってプログラムが実行されると、前記コンピュータに、請求項 2 および請求項 5～11 のいずれか一項に記載の方法を実行させる命令を備える、コンピュータプログラム製品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

本明細書における、本原理の「1つの実施形態」または「実施形態」ならびにこれらの他の変化形への言及は、実施形態に関連して説明された特定の特徴、構造、特性などが本原理の少なくとも1つの実施形態に含まれることを意味する。したがって、本明細書を通して様々な箇所に登場する「1つの実施形態において」または「実施形態において」という表現および他の任意の変化形の出現は、必ずしも全てが同じ実施形態を指すわけではない。

ここで、以下の付記を記載する。

[付記1]

ビデオデータのブロックを符号化する方法であって、
前記ブロックを少なくとも2つの長方形サブブロックに分割することと、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて各サブブロックを符号化することと
を含む方法。

[付記2]

ビデオデータのブロックを復号する方法であって、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて、前記ブロックを構成する複数のサブブロックのうちの少なくとも1つのサブブロックを復号することと、
前記複数のサブブロックを前記ブロックに再構成することであって、再構成することは、前記ブロックの分割の逆動作を備えることと
を含む方法。

[付記3]

ビデオデータのブロックを符号化する装置であって、
メモリと、
前記ブロックを少なくとも2つの長方形サブブロックに分割し、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて各サブブロックを符号化する
ように構成されたプロセッサと
を備える装置。

[付記4]

ビデオデータのブロックを符号化する装置であって、
メモリと、
各サブブロックサイズに対応する変換が用いられるような処理を用いて、前記ブロックを構成する複数のサブブロックのうちの少なくとも1つのサブブロックを復号し、
前記複数のサブブロックを前記ブロックに再構成する
ように構成されたプロセッサと
を備え、再構成することは、前記ブロックの分割の逆動作を備える、装置。

[付記5]

前記分割することは、
前記ブロックが3の倍数ではないサイズ寸法を有する場合、前記ブロックを複数のサブブロックの第1の分割に分割すること
を備え、
前記ブロックは、前記ブロックが3の倍数であるサイズ寸法を有する場合、複数のサブブロックの第2の分割に分割される、付記1～2のいずれかーに記載の方法または付記3～4のいずれかーに記載の装置。

[付記 6]

前記第 1 の分割は、4 分の 1 および 4 分の 3 の分割であり、前記第 2 の分割は、3 分の 1 および 3 分の 2 の分割である、付記 5 に記載の方法または装置。

[付記 7]

前記サイズ寸法は高さである、付記 5 に記載の方法または装置。

[付記 8]

前記サイズ寸法は幅である、付記 5 に記載の方法または装置。

[付記 9]

前記分割することは、

前記ブロックを、水平または垂直分割を用いて少なくとも 2 つの長方形サブブロックに分割することを備え、非対称分割を用いる連続的な分割は、対称分割のみを用いて同等の分割が実現され得る場合、禁止され、同一のサブブロックをもたらす他の連続した非対称分割が存在する場合、1 つの連続した分割のみが許可される、付記 1 ～ 2 のいずれかに記載の方法または付記 3 ～ 4 のいずれかに記載の装置。

[付記 10]

前記分割することは、

前記ブロックを複数のサブブロックの第 1 の分割に分割することと、

前記第 1 の分割に基づいて、前記サブブロックの少なくとも 1 つを、複数のより小さなサブブロックの第 2 の分割に分割することとを備える、付記 1 ～ 2 のいずれかに記載の方法または付記 3 ～ 4 のいずれかに記載の装置。

[付記 11]

前記第 2 の分割を表すモードがシグナリングされる、付記 10 に記載の方法または装置。

[付記 12]

プロセッサを用いて再生するために、付記 1 および付記 5 ～ 11 のいずれかに記載の方法に従って、または付記 3 および付記 5 ～ 11 のいずれかに記載の装置によって生成されたデータコンテンツを含む非一時的コンピュータ可読媒体。

[付記 13]

プロセッサを用いて再生するために、付記 1 および付記 5 ～ 11 のいずれかに記載の方法に従って、または付記 3 および付記 5 ～ 11 のいずれかに記載の装置によって生成されたビデオデータを備える信号。

[付記 14]

コンピュータによってプログラムが実行されると、前記コンピュータに、付記 2 および付記 5 ～ 11 のいずれかに記載の方法を実行させる命令を備える、コンピュータプログラム製品。